Creative Enzymes®

ネイティブ牛β(1-3,4)-ガラクトシダーゼ

Cat. No. NATE-0973

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	非還元末端ガラクトースβ(1-3)およびβ(1-4)結合を加水分解します。他のβ-ガラクトシダーゼと併用してエクソグリコシダーゼシーケンシングに使用できます。
用途	この酵素は、さまざまなグリココンジュゲートの分析に□用されています。特に、オリゴ糖の非還元末端ガラクトース残基のβ(1-3)およびβ(1-4)結合を完全に除去するために有用です。しかし、Gal β(1-6) GlcNAcはより□く加水分解されますが、この結合は通常、天然の複□なグリカンでは見られません。このβ(1-3)およびβ(1-4)結合に□する活性は、Gal β(1-4)に□する好みを示し、Gal β(1-3)結合を比較的□く、あるいは全く切断しない他のβ-ガラクトシダーゼとは□照的です。これらの酵素を併用することで、非還元βガラクトース残基の結合位置を特定するための強力な手段を提供します。
別名	β-ガラクトシダーゼ; ベータガル; β-ガル; ラクターゼ; β-ラクタシダーゼ; マキシラク; ハイドロラク; β-D-ラクタシダーゼ; ラクトザイム; トリラクターゼ; β-D-ガラクトナナーゼ; オリザチム; スミクラット; β-D-ガラクトシド ガラクトヒドロラーゼ

製品情報

種	ウシ
由来	牛の精□
形態	20 mM クエン酸ナトリウムリン酸、150 mM NaCl (pH 4.0)
分子量	~68 kD
最適pH	4
緩衝液	5倍濃縮バッファーは、希釈すると100 mMのクエン酸ナトリウム/リン酸塩pH 4.0を生成します。
単位定義	1ユニットは、pH 4.0および37°Cで1分間に1μmoleのpNP-β-D-galactopyranosideを加水分解するのに必要な酵素の量として定義されます。